

7月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
信仰	村田 沙耶香	世界中の読者を熱狂させる、村田沙耶香の最新短篇&エッセイ「なあ、俺と、新しくカルト始めない？」好きな言葉は「原価いくら？」で、現実こそが正しいのだと、強く信じている永岡。同級生から、カルト商法を始めようと誘われた彼女は――。信じることの危うさと切実さに痺れる8篇。
子宝船 きたきた捕物帳 (二)	宮部みゆき	絵から消えた弁財天、弁当屋一家三人が殺された……。次々と起きる事件に、岡っ引き見習いの北一が立ち向かう、人気シリーズ第二弾！
あきらめません	垣谷美雨	「一人では何もできないが、一人でも始めなければいけない」定年を迎え、悠々自適なセカンドライフを送るつもりだった郁子は、突如、夫の実家に戻ることになった……。気持ちを切り替え、田舎暮らしを楽しもうとしていた矢先、なぜか市議会議員に立候補することに！年齢も性別の地方も越えて、日本のリアルを描く痛快エンタメ小説誕生！
死神と天使の円舞曲	知念実希人	2匹の勇気が、きっとあなたを強くする！『優しい死神の飼い方』『黒猫の小夜曲』を超える、予測不能なスペクタクル！黒猫のクロは、今まさに自殺しようとする料理人に会う。彼は婚約者に拒絶され、さらにその彼女を喪い、絶望の淵に追い詰められたのだ。一方そのころ、ゴールデンレトリバーのレオもまた、新たな「未練」を解決しようと動き出した。「人魂」の噂が飛び交い、不審火事件が続く街で、一体何が起きているのか。すべての謎が一つに繋がったとき、シリーズ最大のピンチが2匹に迫っていた。『我が主様』の命により、動物の姿を借りて地上に降り立ったレオとクロ。彼らの本質は高位な霊的存在、いわゆる「死神」「天使」。「生と死」に寄り添う隣人たちの、心震わせるミステリーシリーズ第3弾！
俺ではない炎上	朝倉秋成	ある日突然、「女子大生殺害犯」とされた男。既に実名・写真付きでネットに素性が曝され、大炎上しているらしい。まったくの事実無根だが、誰一人として信じてくれない。会社も、友人も、家族でさえも。ほんの数時間にして日本中の人間が敵になってしまった。必死の逃亡を続けながら、男は事件の真相を探る。
競争の番人	新川帆立	弱くても戦え！『元彼の遺言状』著者、注目の新鋭が放つ面白さ最高の「公取委」ミステリー。ウェディング業界を巣食う談合、下請けいじめ、立入検査拒否。市場の独り占めを取り締まる公正取引委員会を舞台に、凸凹パディが悪を成敗する！公正取引委員会の審査官、白熊楓は、聴取対象者が自殺した責任を問われ、部署異動に。東大首席・ハーバード大留学帰りのエリート審査官・小勝負勉と同じチームで働くことになった。二人は反発しあいながらも、ウェディング業界の価格カルテル調査に乗り出す。数々の妨害を越えて、市場を支配する巨悪を打ち倒せるか。ノンストップ・エンターテインメント・ミステリー！ 「デビュー2年目の勝負作です。わくわくドキドキ、ちょっぴり身につまされ、不思議と力が湧いてくる。理屈抜きで面白い王道エンターテインメントを目指して書きました。エンタメの幕の内弁当、どうぞ召し上がれ！」-新川帆立
ハロー・グッドバイ 東京バンドワゴン	小路幸也	「LOVE」は、必ず、めぐり逢う――思わぬ場所での再会、知られざる過去との遭遇、甘酸っぱい恋の行方、切ないけれど前向きな旅立ち……。今年も賑やかで温かな、大人気シリーズ第17弾！ 田町家を取り壊され増谷家・会沢家として生まれ変わろうとするなか、ついにくかふえ あさん」の夜営業が始まる。見慣れないお客さんとともに、不思議な事件も舞い込み……。そして、藍子とマードックのイギリス生活にも大きな転機が。さまざまな変化や試みに、堀田家は「LOVE」を胸に挑んでいく。

<p>横浜大戦争 川崎・町田 編</p>	<p>蜂須賀 敬明</p>	<p>今度は横浜を飛び出し、川崎、町田の地でも大暴れ。ある日突然川崎の神から「オメーらに、横浜を司る資格はない」と宣戦布告を受けた横浜の土地神たち。売られた喧嘩は買うしかない。わけもわからず川崎との“戦争”を始めた横浜の土地神たちだったが、そこになぜか町田市を司る町田の大神も参戦。どうしてこんな奇妙奇天烈なことが起こってしまったのか。それはこの“戦争”が、町田の大神が横浜、川崎を呑み込み「町田県」として独立することを夢見たために起きた“領土争い”だったから。だがしかし、その町田の大神も何者かに操られているに過ぎなかった……。果たしてこの壮大な“戦争”の発端は何だったのか？</p>
<p>流転-越境捜査</p>	<p>笹本稜平</p>	<p>12年前、富豪一家3人を惨殺し20億円もの資産とともに国外逃亡した男が横浜市内で目撃された。さっそく警視庁捜査一課で継続捜査を担当する鷺沼が捜査に乗り出すが……。昨年11月に急逝した著者の代表的シリーズ「越境捜査」、その最新刊にして最終刊。</p>
<p>小さき王たち</p>	<p>堂場瞬一</p>	<p>1971年12月の新潟。新聞記者・高樹治郎と幼馴染の政治家秘書・田岡総司は成功を誓い合う。だが、選挙を前に浮上した大規模収賄疑惑が、二人の道を分けようとしていた。新聞記者と政治家。二つの家系の物語を壮大に描く、大河政治マスコミ小説の新たな金字塔</p>
<p>花屋さんが言うことには</p>	<p>山元幸久</p>	<p>24歳、ブラック企業勤務。身も心も疲れ果てていた紀久子が深夜のファミレスで出会ったのは、外島李多と名乗る女性だった。彼女は「川原崎花店」という花屋さんを駅前で営んでいるらしく、酔っぱらった勢いで働くことに。やたらカレー作りがうまい青年や、おしゃべり好きの元教師、全体的に適当な李多。バラエティに富んだ従業員と色とりどりのお花に囲まれながら、徐々に花屋さんの仕事に慣れていく。花を求めるお客さんの事情はそれぞれ。誰かを祝う花もあれば、少し切ない花もある。いろんな想いが詰まったお花を届けているうちに、紀久子は自分の心にもう一度向き合いはじめ――</p>
<p>わたしがテピンギー ハイチのおはなし</p>	<p>中脇初枝 作 あずみ虫 絵</p>	<p>テピンギーは、おかあさんがなくなって、あたらしい母親とくらしている女の子。ある日、知らないおじいさんの召使いにされそうになりますが、友達の家をまわって、あることを頼みます。ハイチにつたわる、すてきなひらめきと友達の助けで困難をのりこえた女の子の昔話が絵本になりました。</p>
<p>みつけてみよう！コアラ のマーチ さがしえブック</p>	<p>山本麻誉 編集</p>	<p>LOTTEの大人気お菓子「コアラのマーチ」のイラストを使用した探し絵本が登場！海や街、動物園などさまざまな場所にコアラのマーチくんたちを探し出そう！さらに、パッケージ誕生秘話や、お菓子の絵柄の数など、コアラのマーチの豆知識も掲載。大人も楽しめる1冊です。</p>

【お知らせ】

新しい雑誌を配架しました！

■ 一般書

■ NHKテレビテキスト「囲碁講座」

■ 「すてきにハンドメイド」

■ 「ESSE」

■ 児童書

